

3/3
SUN

アゼリアおおたけまつり



(上)名誉市民の作詞家石本美由起さん生誕100年を祝って『大竹音頭』などを合唱した『みゆき会』に合わせて踊る皆さん(左)「チリチリチリ」と奏でるマンドリンの合奏。



2/12
MON

生涯学習グループ成果発表



(上) 朗々と響く民謡『斎太郎節』(下) フィナーレは会場一体となって踊ります。



PART2

3/17
SUN



総合市民会館・おがたピア合同まつり



(左) 藤田栄子さん(和木町)姉妹は、お茶席で一服、「い」とのシャドウボックス作品を見に来ました。お茶は飲みやすくおいしい。(左下) 説明を聞きながら鑑賞。



3/9
SAT

栄公民館まつり

(上)「ひまわり さかえこども園」の園児の作品(下)大きな絵手紙展示作品を鑑賞する来場者。訪れた今津昌子さん(新町)は「皆さんが教室で頑張っているのを感じる素晴らしい作品でした」



3/3
SUN

川面ゆらゆら流しびな

小瀬川木野地区

桃の節句に恒例の『ひな流し』が、小瀬川流域の4つの会場で催され、手作りの男びな女びなを持ち寄って流す光景が見られました。両国橋下流の木野地区では、小雨の空もやがて晴れ間をのぞかせ、仮設の棧橋から願いを込めながらそっと流す親子などの姿が続きます。初めてひな流しを体験した土井梨央奈さん(小方小1)と東 乃愛さん(大竹小1)は、ダンスクラブで一緒に励んできた友達。2人は「事故が起こらない大竹に」「けんかがないように仲良く」と願いを込めました。

主催の青少年育成市民会議の泉須美子さんは「伝統行事がよこばれて続いていくのはうれしい」と頬を緩ませます。いくつもの流しびなが、川面に揺れる様子を見守る泉さんでした。



①ダンス仲間の土井さんと東さん。この後、振る舞われた綿菓子をはたきまじり、②願いを込めて流します③見て見て手作り流しびな④お顔はう

まく描けたかな⑤温かいうどんが人気⑥川面に映える晴れ姿⑦ベストショットをねらうカメラマン⑧静かな川面にゆらゆらと。